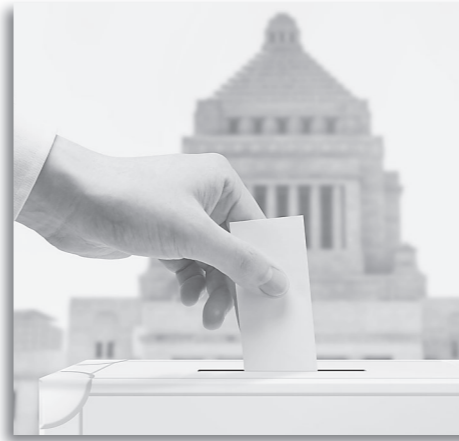


私の一票で変える、変える、変える

私と「総選挙」

この1年半は、コロナ禍の中で今までにない非日常を経験してきました。
 普段の生活を取り戻すにはどうしたらいいのでしょうか。
 なによりもいのちとくらしを守るために、私たちに何ができるのでしょうか。
 さあ、総選挙です。



**「マニフェスト」
 って死語？** **医療職**

新型コロナ感染症に振り回される日々が続いている。充実しているとされた日本の医療はそうではなかった。
 「マニフェスト」って言葉が出た時から、私は選挙に行かないといけないと思い始めたことを覚えている。「マニフェスト」で論戦し、分かりやすい選挙をお願いしたい。

**笑顔いっぱい
 の社会になるように」** **現業職**

いろいろな所に支援に向く。どこに行っても仲間の姿に出会い、元気をもらって帰ってくる。酷暑の夏・厳寒の冬・さわやかな春や秋、土地、土地の景色・暮らし・優しさに触れ、思いを強く

する。そこに暮らす人々やエッセンスが大切になされる。社会になりますように、笑顔いっぱい社会になりますように。
 一歩一歩、一声一声、一枚一枚に願いを込めて。

**いのちを守る
 公務員を増やして」** **技術職**

職員を減らし続けた結果、災害などが起きた時に対応できなくなっている。
 コロナ対応も同じ。市民のいのちと暮らしを守るのが私たちの使命。なのに、守ることができない。公務員を増やす公約を掲げる政党を選びたい。

**私たちの願いを
 実現するチャンス** **保育職**

コロナ禍での保育、子どもたちの命と安全を守るために日々奮闘

しています。しかし、子ども一人当たりに対する面積基準や保育士の配置基準、窮屈な環境で保育をしているのは、子どもたちの成長や発達を守っていけないと強く感じています。
 保育制度の抜本的改善を求め運動している今、選挙は私たちの願いを実現するチャンスです。

**人のいのちを
 何と想っているんだ** **事務職**

新型コロナウィルス感染症で1万7000人以上の人が亡くなったにもかかわらず、「他国より少ない」と言った菅首相。人のいのちを何と想っているんだ。
 岸田首相は菅政権を支えてきた人。森・加計・桜の疑惑も、真相は明らかになっていない。「人の話を聞くことが特技」と岸田首相。赤木さんと国民の意見を聞いてほしい。

2021 秋季年末闘争 あらゆる格差をなくし 8時間働けば、誰もが 人間らしく暮らせる社会へ



大阪自治労連定期大会 (9月12日)

**新型コロナウイルス対策の強化
 職員の安全確保を**

PCR検査拡充、ワクチン接種など職員の安全確保に努めること。体制拡充、安全衛生委員会の活動を強化、消毒液、マスク、アクリル板、換気、空気清浄機など徹底することを求めます。

**一時金削減阻止
 不妊治療休暇実現など**

21人勸による期末手当0・15カ月削減のストップ。育児休業の取得制限の緩和、不妊治療休暇の創設、出産、育児に関わる非常勤職員の休暇の

**非正規公務員の
 均等待遇を実現しよう**

改善を求めます。
 会計年度任用職員の抜本的な処遇改善を求めます。雇用、賃金、手当、(期末・勤) 手当相当分)、人事評価など、一人の労働者として尊重すること。福利厚生、労働安全衛生など労働者差別を許しません。

**だれもが65歳まで働く
 ことができる環境整備を**

定年引き上げは、雇用と年金の接続、高齢期の生活給付確保がカギです。

2023年4月から、2年ごとに1歳ずつ段階的に引き上げます。誰もが65歳まで働くことができる環境整備、60歳をこえた職員にふさわしい働き方、モチベーションの維持など、条例化に向けた労使協議を進めます。

**緊急時・災害時に対応
 できる職場体制の確立**

緊急事態に対応できる職員体制の確保を強く求めます。中途採用も含めた職員募集と採用、特に保健師・看護師・保育士・現業職など専門職の採用を求めます。

**賃金底上げと
 大幅賃上げをめざして**

公務員の賃金は、地域の企業に働く労働者のベースになります。
 秋季年末闘争で公務員賃金を上げて、来春闘で民間賃金を上げる。好循環を勝ち取ることで、地域経済も活性化します。

**自らの生活改善と、すべて
 の労働者の賃上げをめざして**

自らの生活改善と、すべての労働者の賃上げをめぐって、全力を挙げましょう。

今月のキーワード

不妊治療と仕事の両立

近年、不妊治療を受ける夫婦が増えていますが、仕事と両立できずに離職するなど、不妊治療と仕事の両立支援は重要な課題になっています。両立の難しさは、通院回数の多さ、精神面での負担、通院と仕事の日程調整などです。人事院は国家公務員に年間最長で10日間の不妊治療のための有給休暇制度を創設するとし、来年1月から導入する予定です。男女ともに対象となります。年間5日間を基本に、必要な場合さらに5日間追加取得できます。

今月のキーワード

野党共闘

「選挙で野党が結束して協力すること」です。通常は別々の野党であり、掲げる理念や政策にも違いがある野党が選挙時に結束します。衆院選や参院選の選挙区で当選できる候補は1人です。野党から複数人立候補すると、与党や政権に否定的な有権者の票が分散し、野党候補が共倒れしてしまいます。野党の候補者一本化は、政権や与党に対する批判票を死票にしないために行われているのです。